

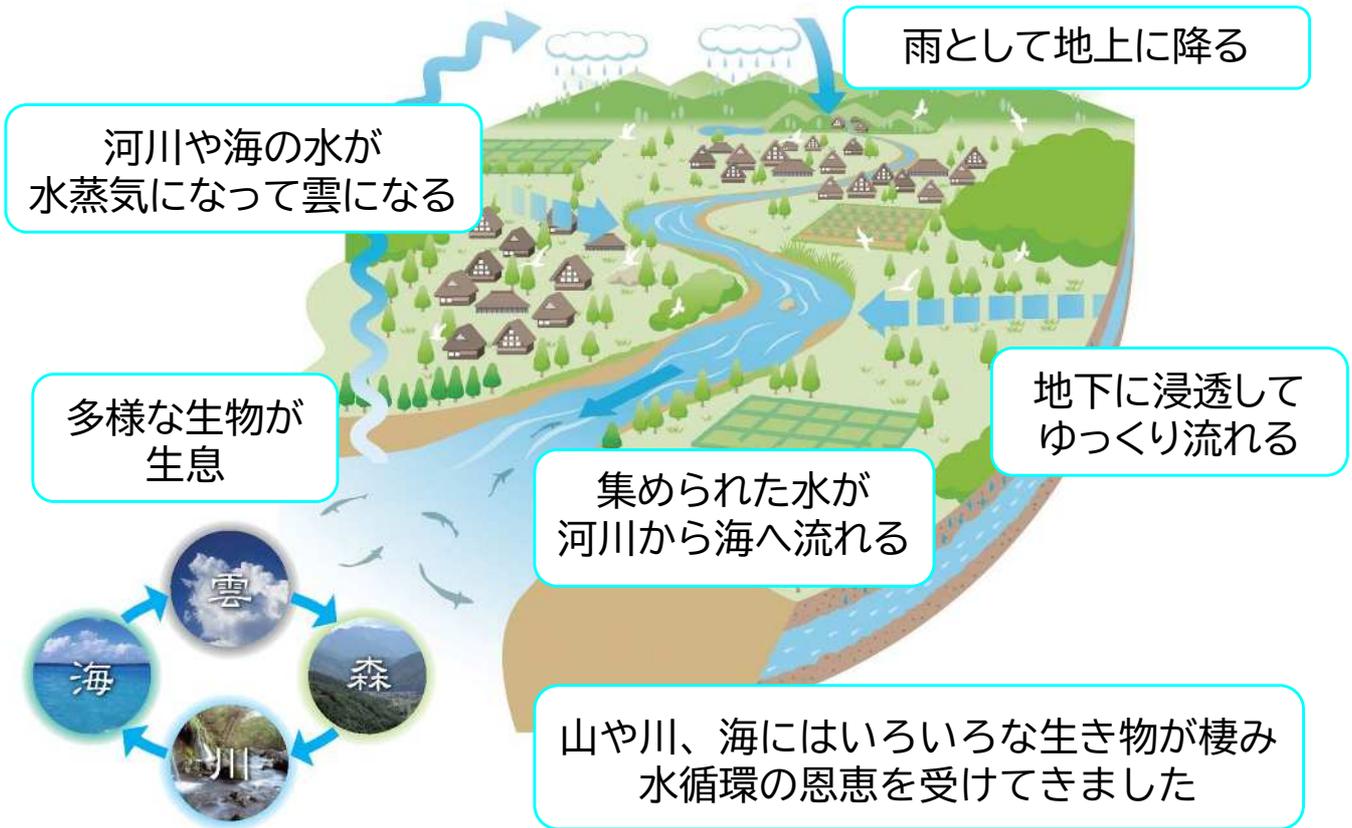
あいち水循環再生基本構想と 水循環再生地域協議会について



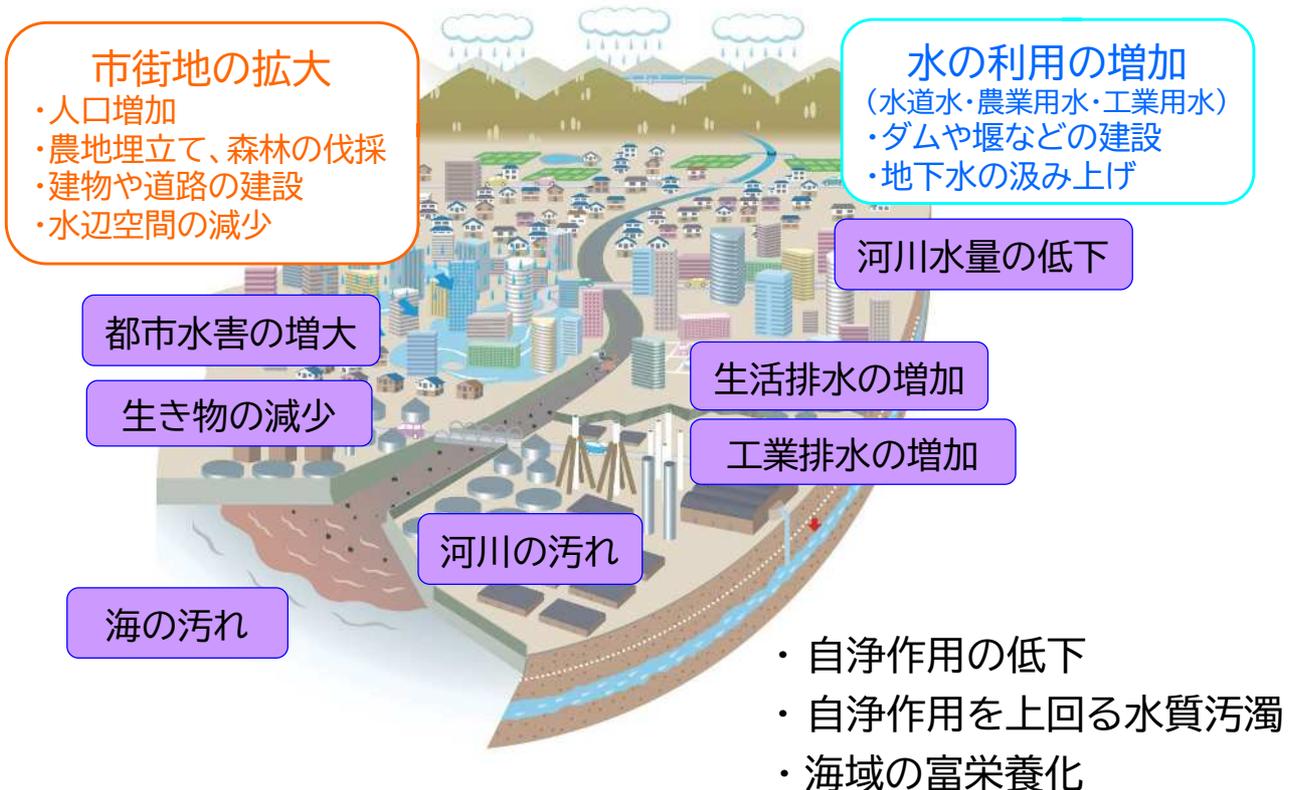
あいち水循環再生基本構想と水循環再生地域協議会

- 1 水循環(水環境)の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

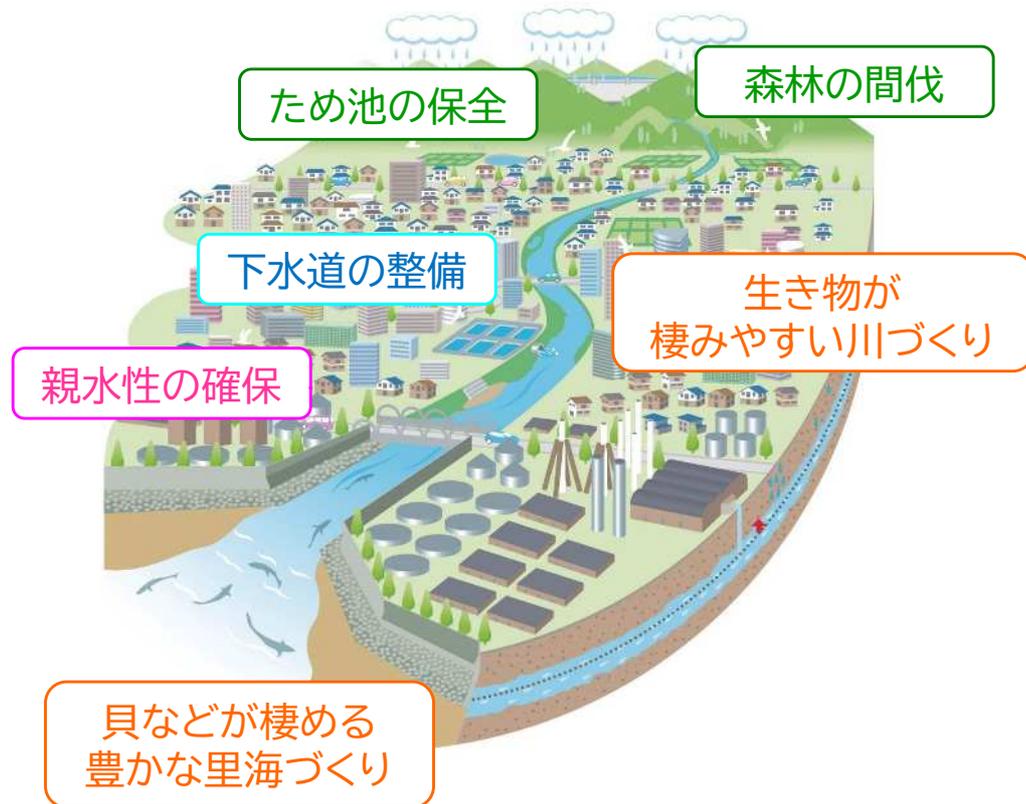
(1) 水循環のしくみ



(2) 高度経済成長に伴う水循環の問題



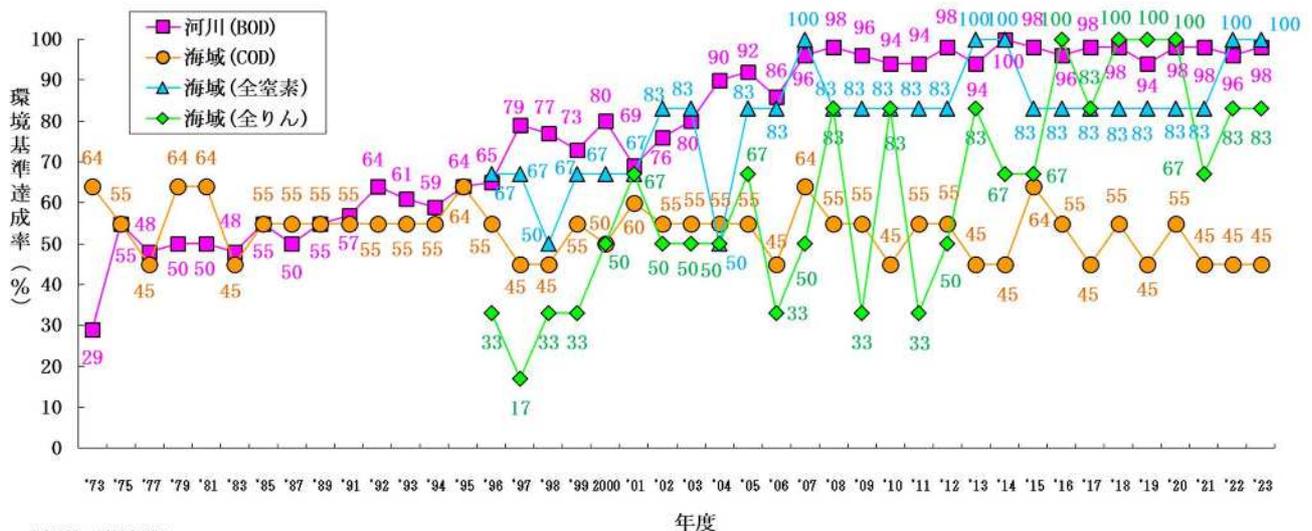
(3)健全な水循環（水環境）を取り戻すために



あいち水循環再生基本構想と水循環再生地域協議会

- 1 水循環(水環境)の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

(1) 水質環境基準の達成率 (県全域)



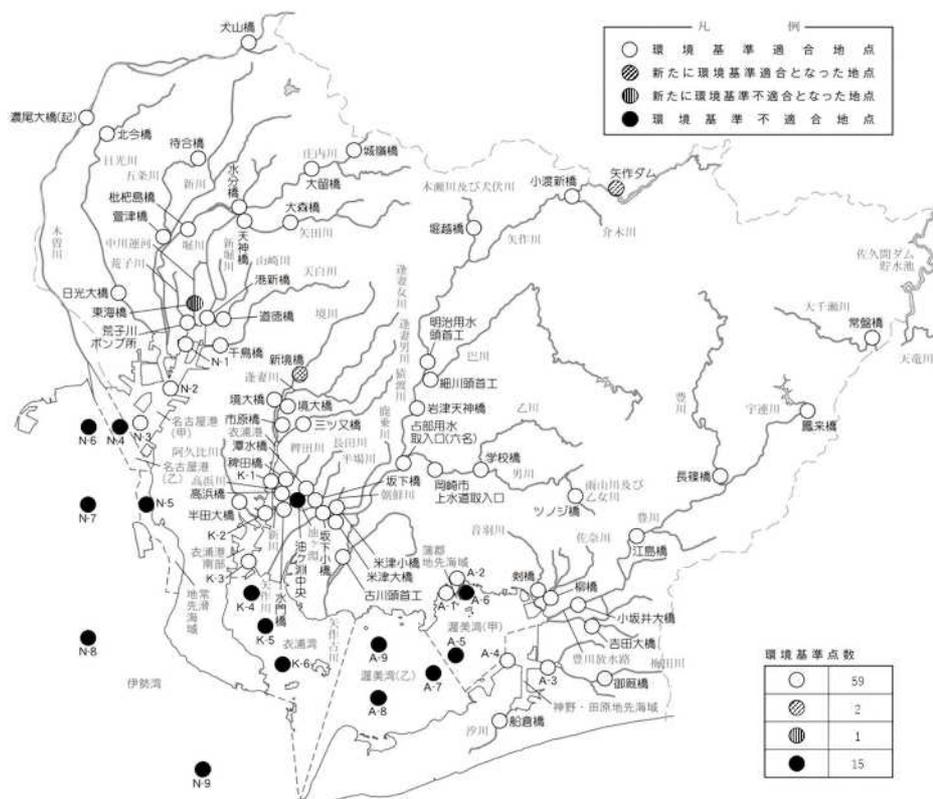
(資料) 環境局調べ

(注) 達成率 (%) = (達成水域数) ÷ (総水域数) × 100

<達成率の長期的な推移>

- ・ 河川のBODは改善傾向 (ここ数年間は90%以上を維持)
- ・ 海域のCODは概ね横ばい、全窒素及び全りんは改善傾向

(1) 水質環境基準の達成率 (県全域)



(2)赤潮の発生

赤潮

プランクトンが異常に増殖し、海や川、運河、湖沼等の色が赤色や褐色に変色する現象



(3)苦潮(青潮)の発生

苦潮(青潮)

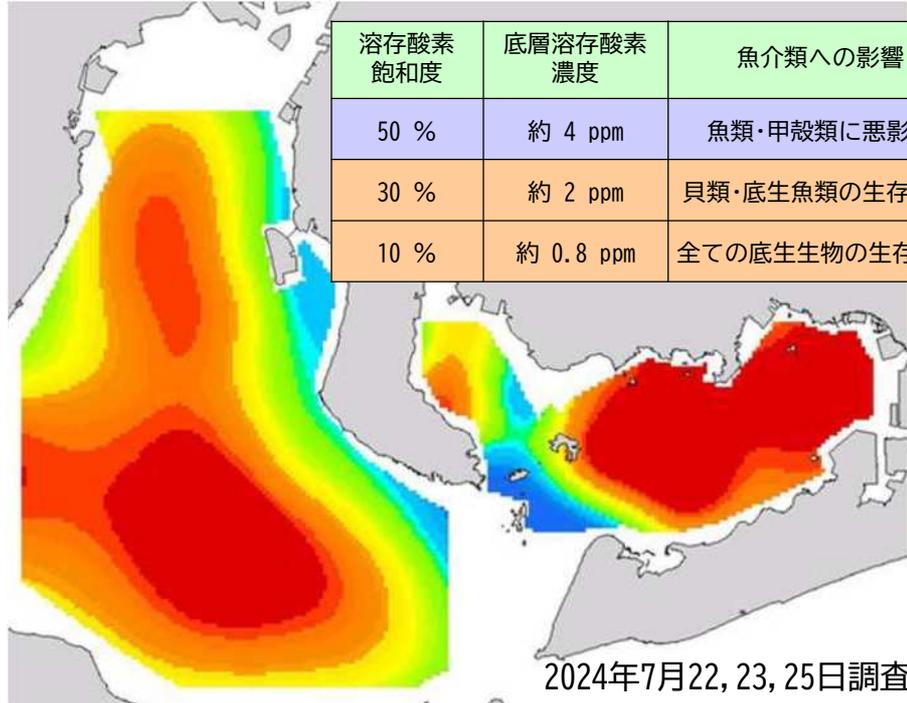
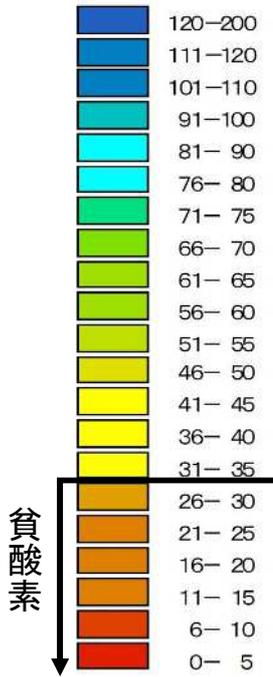
海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。魚や貝の大量死など大被害をもたらすことがある。



(4) 貧酸素水塊の発生

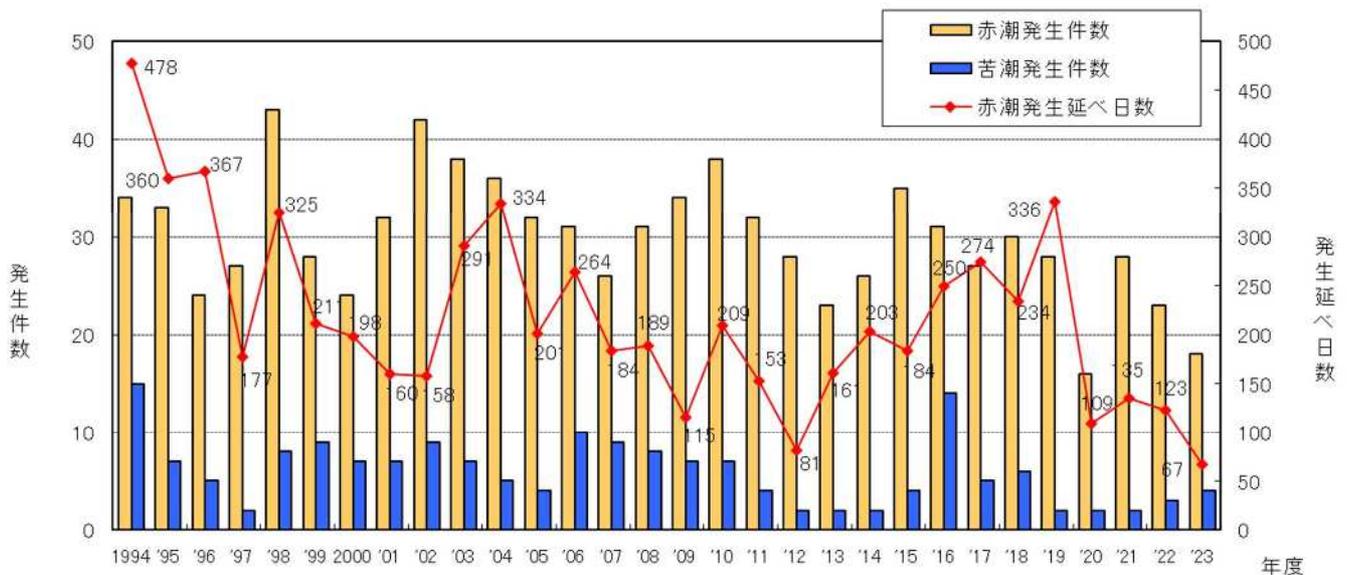
溶存酸素飽和度(%)

県水産試験場では、30%以下の水域を貧酸素水塊と定義



出典：伊勢・三河湾貧酸素情報(R6 - 7号) (愛知県水産試験場)

(5) 伊勢湾・三河湾における赤潮・苦潮の発生状況

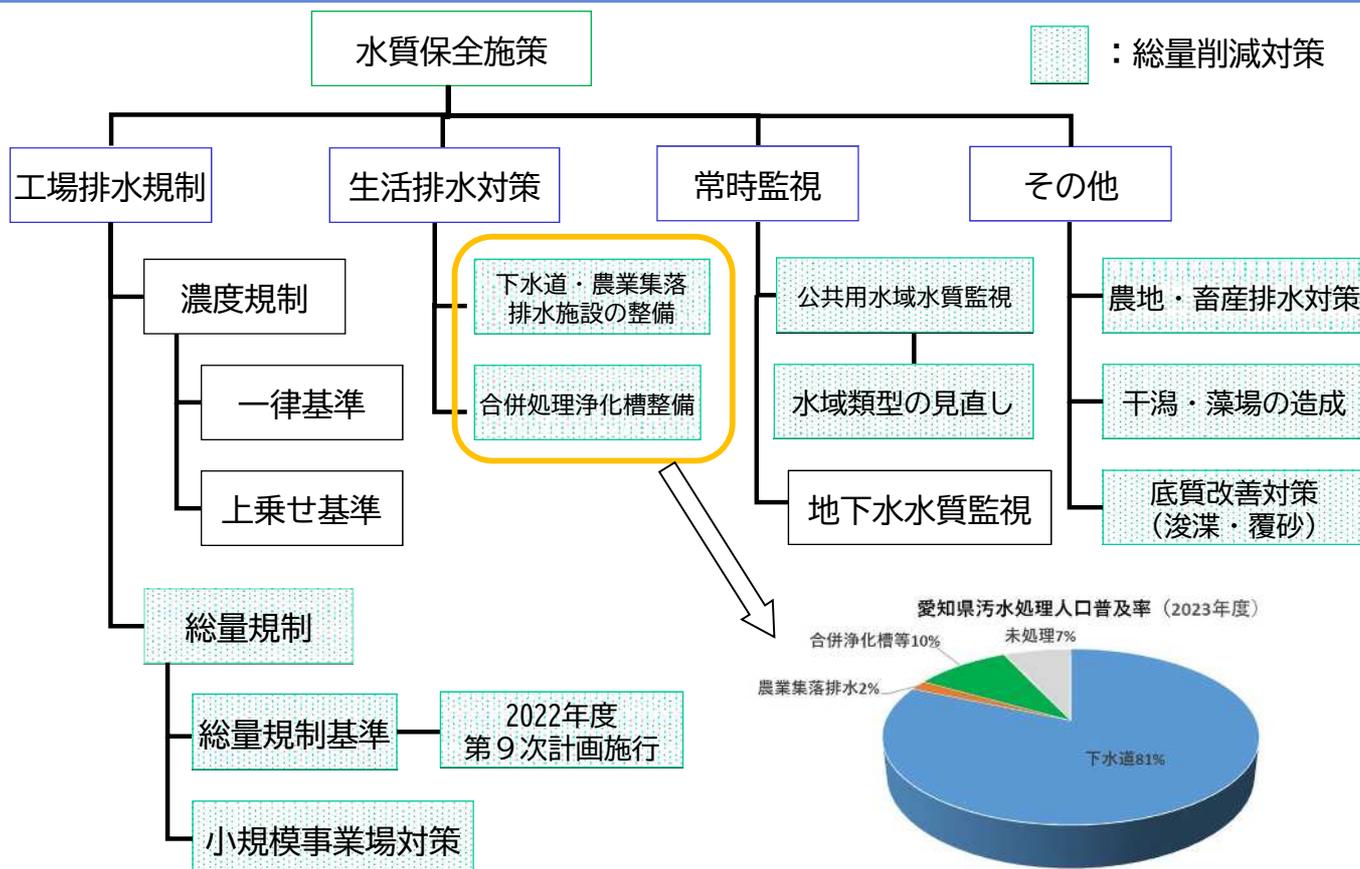


(注) 赤潮として確認できたもののみをカウントしているため、定量評価には留意が必要。

資料：農業水産局調べ

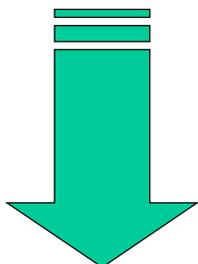
- 1 水循環(水環境)の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 **愛知県の水質保全施策**
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

(1) 愛知県の水質保全施策



(2)水質保全対策を進める上での視点の転換

場の視点



流れの視点

- 工場の排水規制などの限られた場所や、環境・治水・利水などの**限定した側面を捉えて**、各分野ごとに対策を実施

- 上流から下流までの水の流れを考慮し、**流域全体で水循環の機能に着目した取組**を総合的に実施

- 総合的な視点に立ち、**各主体が連携**して事業を実施

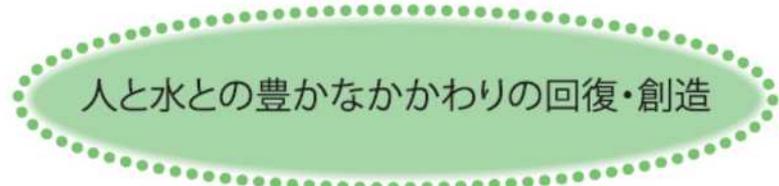
2006年3月に「**あいち水循環再生基本構想**」を策定

あいち水循環再生基本構想と水循環再生地域協議会

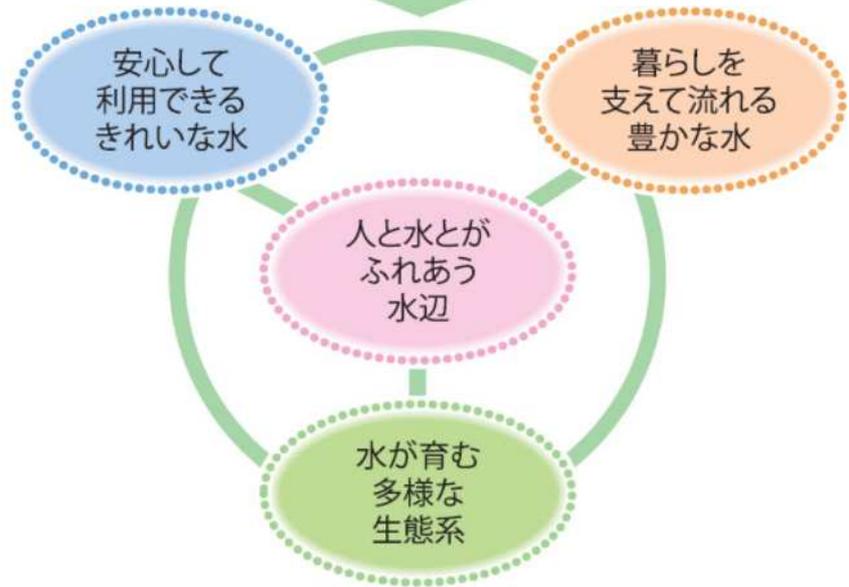
- 1 水循環(水環境)の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想**
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

(1) 基本構想の「目標」と「めざす姿」

【目標】



【めざす姿】



(2) 基本構想のイメージ

取組

●取組の方向性イメージ図

取組活性化のための方策

- ① 環境学習の推進
- ② 情報の共有化
- ③ 県民・事業者・民間
団体・行政等の協働
- ④ 取組の検証・拡充

取組

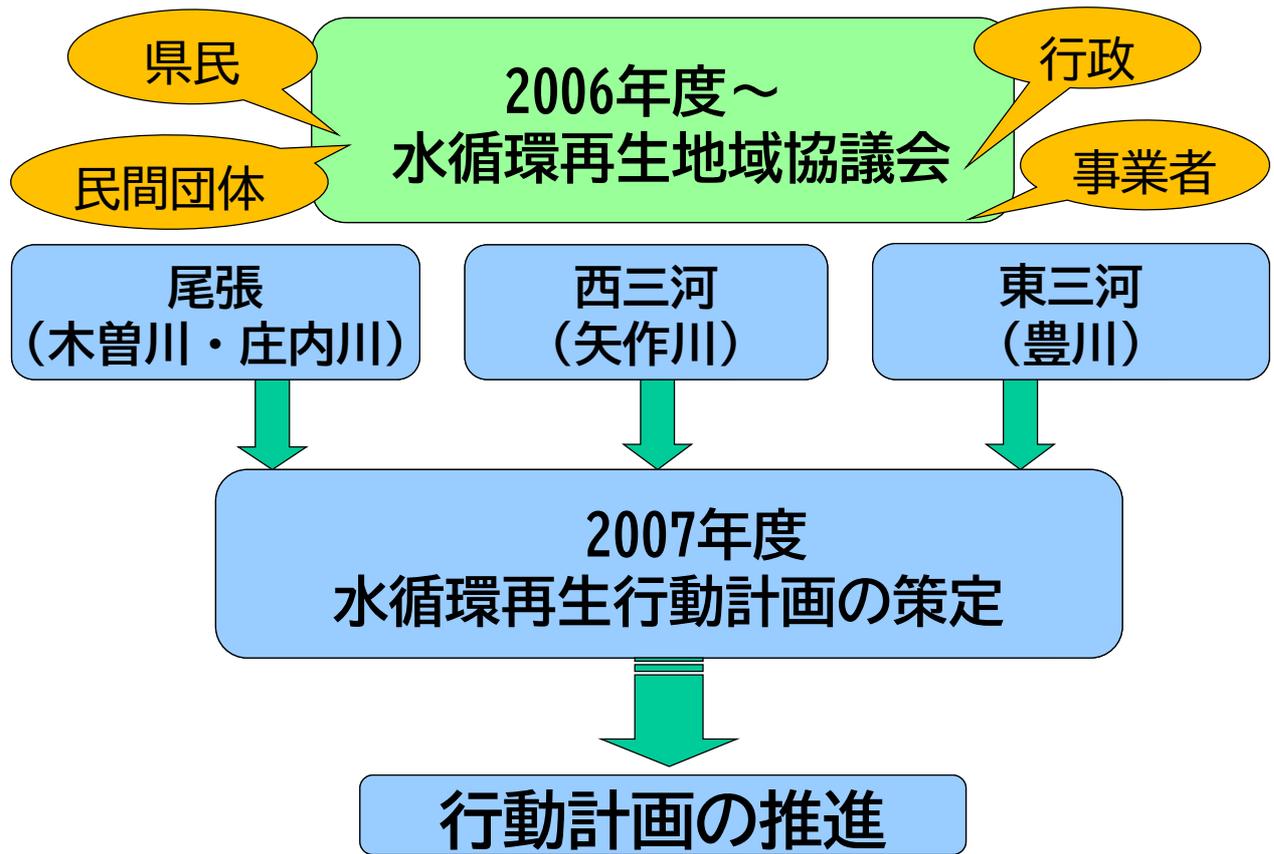
【場所ごとのテーマ】

- ① 森林の整備・保全
- ② 農地保全
- ③ まちづくり
- ④ 海づくり

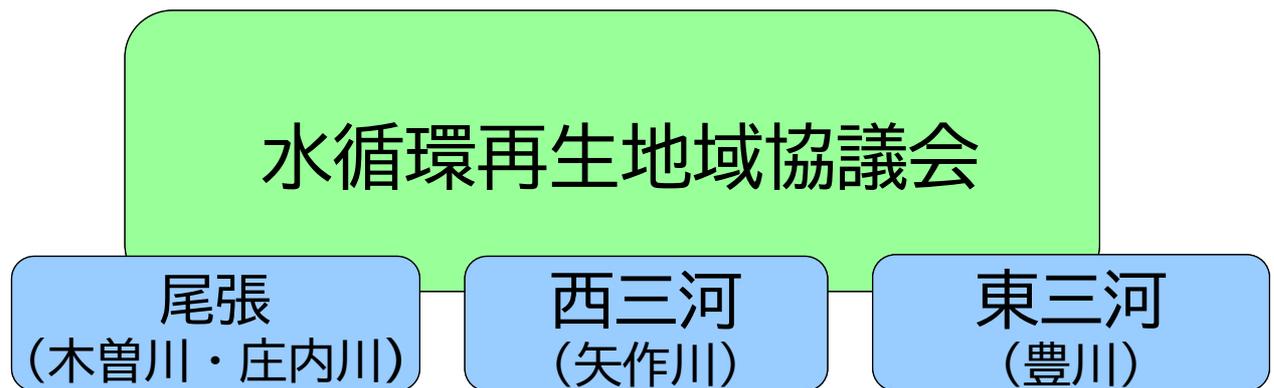
【健全な水循環の機能】



(3) あいち水循環再生地域協議会



(4) あいち水循環再生地域協議会

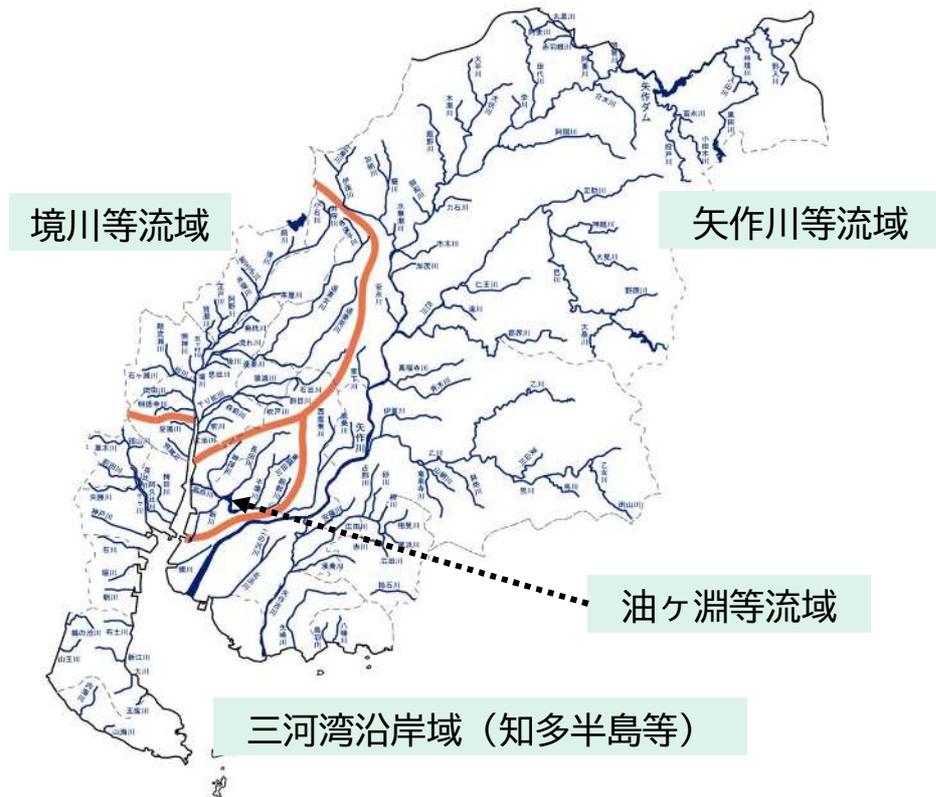


- ・ 2006年度から3地域ごとに毎年1回開催
- ・ 水循環再生に関する取組・活動状況の総括、取組点検指標による行動計画の進捗確認、事例紹介、啓発活動の報告、構成員相互の意見交換、情報交換など

(4)-1 尾張地域



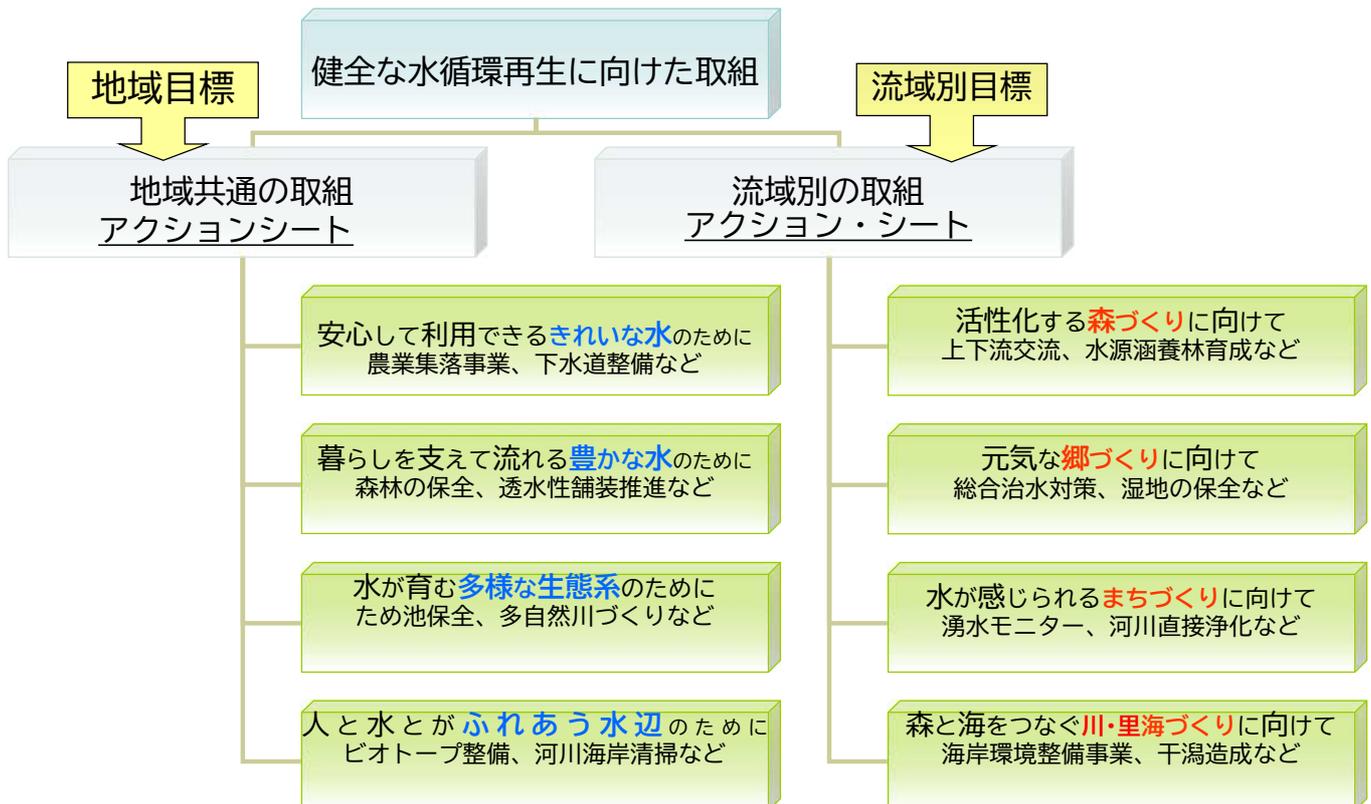
(4)-2 西三河地域



(4)-3 東三河地域



(5) 水循環再生行動計画の構成



(6)現在までの協議会の経緯

- 2005年度 水循環再生基本構想 策定
- 2006年度 水循環再生地域協議会 設立
- 2007年度 水循環再生行動計画（第1次）策定
- 2008年度 取組点検指標 作成
- 2009年度 流域モニタリング一斉調査 開始
- 2011年度 水循環再生行動計画（第2次）策定
- 2015年度 水循環再生行動計画（第3次）策定
- 2020年度 水循環再生行動計画（第4次）策定

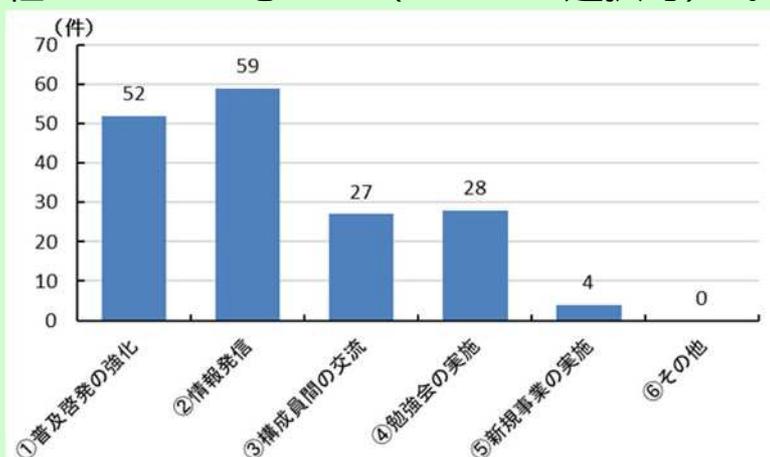
水循環再生行動計画（第4次）に基づく行動を実施

<毎年度実施> 流域モニタリング一斉調査、
取組点検指標による進捗確認、行動計画の見直し

(6)現在までの協議会の経緯

2021年度に協議会構成員にアンケートを実施

水循環再生地域協議会の活性化に向けて、どのようなことに力を入れて取り組むとよいと思うか（3つまで選択可）。

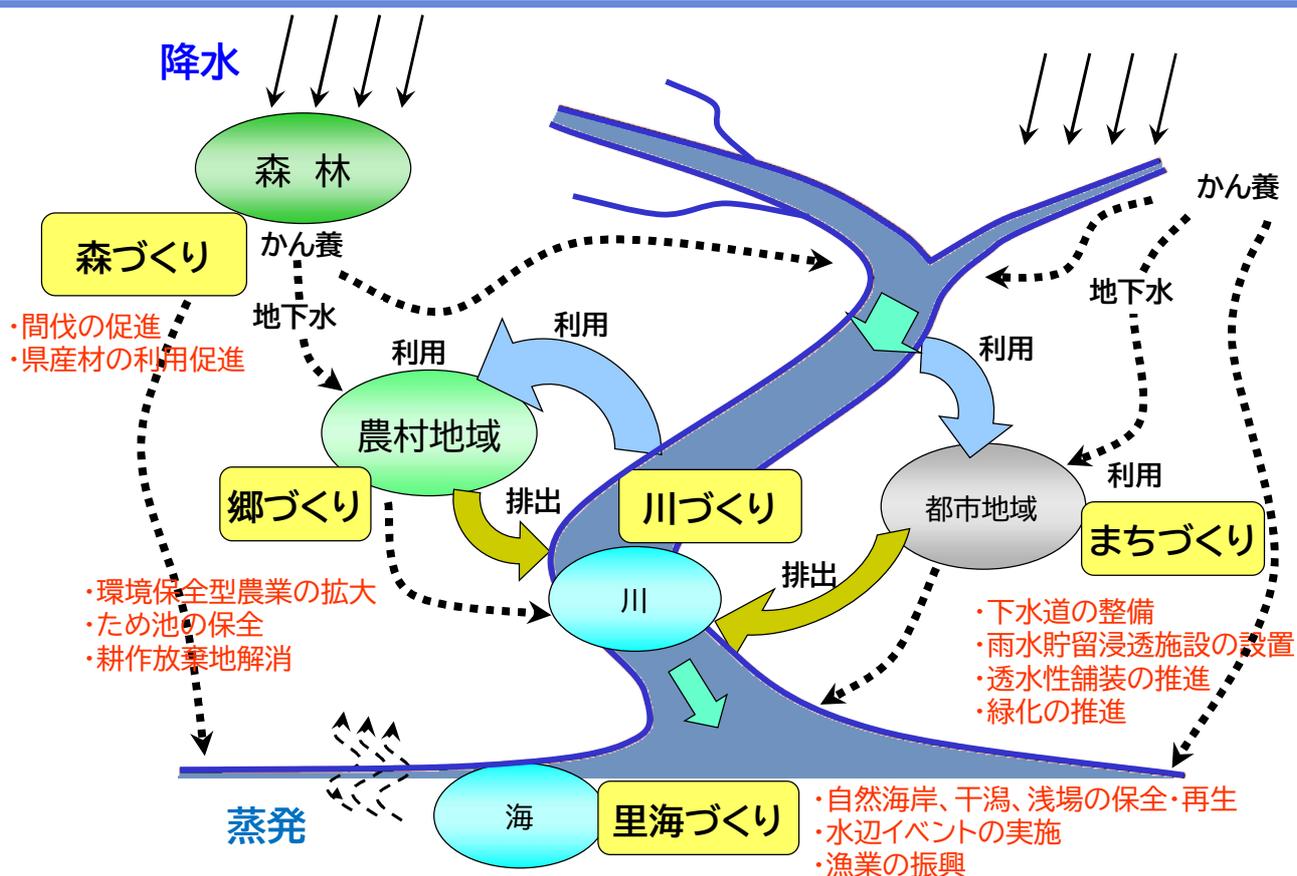


普及啓発、情報発信にも取り組んでいく。

2022年度から水循環をテーマとした実地での勉強会を開催

- 1 水循環(水環境)の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

水循環再生の取組



- 1 水循環(水環境)の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

(1) 県民参加の取組「流域モニタリング一斉調査」

- (1) 水質(きれいな水)
水の汚れ(CODパックテスト)、水の色、濁り、におい、泡・油膜、水底の感触
- (2) 水量(豊かな水)
水深、流れの変化、流速、湧水(過去に確認された場所のみ採用)
- (3) 生態系(多様な生態系)
水質階級(水生生物調査)、魚の調査、植生調査(水際、水辺周辺)、鳥や昆虫の調査、外来種調査
- (4) 水辺(ふれあう水辺)
透視度、ごみの状況、水辺の利用のしやすさ、水辺への近づきやすさ、水辺の自然度、水辺景観(心地よさ)、水辺での活動(①散歩、レジャー、②環境学習 ③環境保全活動)



(2)流域モニタリング一斉調査の調査票

調査票

※調査票を提出する際には、調査地点のわかる地図を添付してください。

グループ名	調査日時	年 月 日 () 午前 午後
名前	調査場所	川の幅 m
	参加人数	人 天気 ☀️ ☁️ ☔

水のきれいさ

調査項目	調査項目ごとの評価					評価点	平均点
	5	4	3	2	1		
安全できれいな水	安全できれいな水 ← 利用にくい水						
1.水の色	無色	中間	少し色がある	中間	濁りが付いている	点	
2.水のにごり	透明	中間	少しにごっている	中間	とてもにごっている	点	
3.水のにおい	においを感じない	中間	いやなにおいを少し感じる	中間	いやなにおいを強く感じる	点	平均
4.水に浮いた油や泡	泡はない 油のまじりは少ない	中間	泡が少しある 油のまじりが少しある	中間	泡が多い 油のまじりが多い	点	
5.水の底の感じ	心地よい	中間	ちょっと 又もたれている	中間	ヌルヌルして 気持ち悪い	点	
6.OOD(フグ) テスト結果	2mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以下	8mg/l以下	9mg/lを超える	点	

水の量

調査項目	調査項目ごとの評価					評価点	平均点
	5	4	3	2	1		
1.流れのほやさ	十分な流れがある ← 流れがほとんどない						
2.流れの変化	氷期に激減する ような流れがある	中間	氷期は減るが 流れはほとんど 変わらない	中間	流れがほとんど ない	点	
3.わき水のよさ	以前と変わらない 量のわき水(湧水)がある	中間	少ないけど わき水(湧水)がある	中間	わき水(湧水)が なくなった	点	平均
4.川の深さ	60cm以上	40cm~60cm	20cm~40cm	10cm~20cm	10cm未満	点	
5.川の流れの速さ	80cm/秒以上	40cm/秒 ~60cm/秒	20cm/秒 ~40cm/秒	10cm/秒 ~20cm/秒	10cm/秒未満	点	

備考 ※平均点の欄は、記入しなくても構いません。

注1 水の量の評価は、河川の流域、河口部など、調査の場所、時期によって異なる場合があります。また、調査の時期によって異なる場合があります。

注2 湧水の量は、以前と比べて減少している場合は、その減少率を記入する。

注3 湧水の量が減少している場合は、その減少率を記入する。

生態系

調査項目	調査項目ごとの評価					評価点	平均点
	5	4	3	2	1		
	生物が豊富な水環境 ← 生物がほとんどいない水環境						
1.魚のようす	たくさんいる	中間	たまに見かける	中間	魚がいない	点	
2.水びわの植物	いろいろな種類が 多くはえている	中間	植物がはえている	中間	植物はない	点	
3.周辺の植物	水が多くはえている	中間	緑がある	中間	緑はない	点	平均
4.周辺の生き物	いろいろな種類の 生き物がいる	中間	たまに生き物を見る	中間	生き物はない	点	
5.外来種	いない	少ない	やや多い	多い	外来種しかない	点	
6.水質 (生き物による水の きれいさの指標)	I	II	III	IV	何もない	点	

水辺のようす

調査項目	調査項目ごとの評価					評価点	平均点
	5	4	3	2	1		
	快適な水辺(憩いできる水辺) ← 水辺を活用できる程度						
	下駄の水辺						
1.こみ	こみが少ない	中間	こみがあるところがある	中間	こみが多い	点	
2.水辺の利用	水のまわりや中で 遊ばない	中間	ながめたり さんぽをしたい	中間	近づきたくない	点	
3.水辺への 近づきやすさ	どこからでも 水辺に近づける	中間	水辺に近づける ところがある	中間	近づけない	点	
4.水辺の自然度	緑が多く 自然が豊か	中間	緑はある	中間	人工的な水辺	点	平均
5.水辺の景観	全体が調和していて こころよい	中間	調和していない ところもある	中間	まわりの風景と うまく調和していない	点	
6.散歩・レジャー	多くの人が毎日ように 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない	点	
7.環境学習	多くの人が 利用されている	中間	ときどき 利用されている	中間	利用されていない	点	
8.環境保全活動	多くの人が 活動している	中間	ときどき 活動している人がいる	中間	活動している人が いない	点	
9.透視度	80cm以上	60cm~80cm	40cm~60cm	20cm~40cm	20cm以下	点	

注1 評価点の欄は、記入しなくても構いません。

注2 評価点の欄は、記入しなくても構いません。

注3 評価点の欄は、記入しなくても構いません。

(3)流域モニタリング一斉調査の様子

水生生物の採取



パックテストの実施

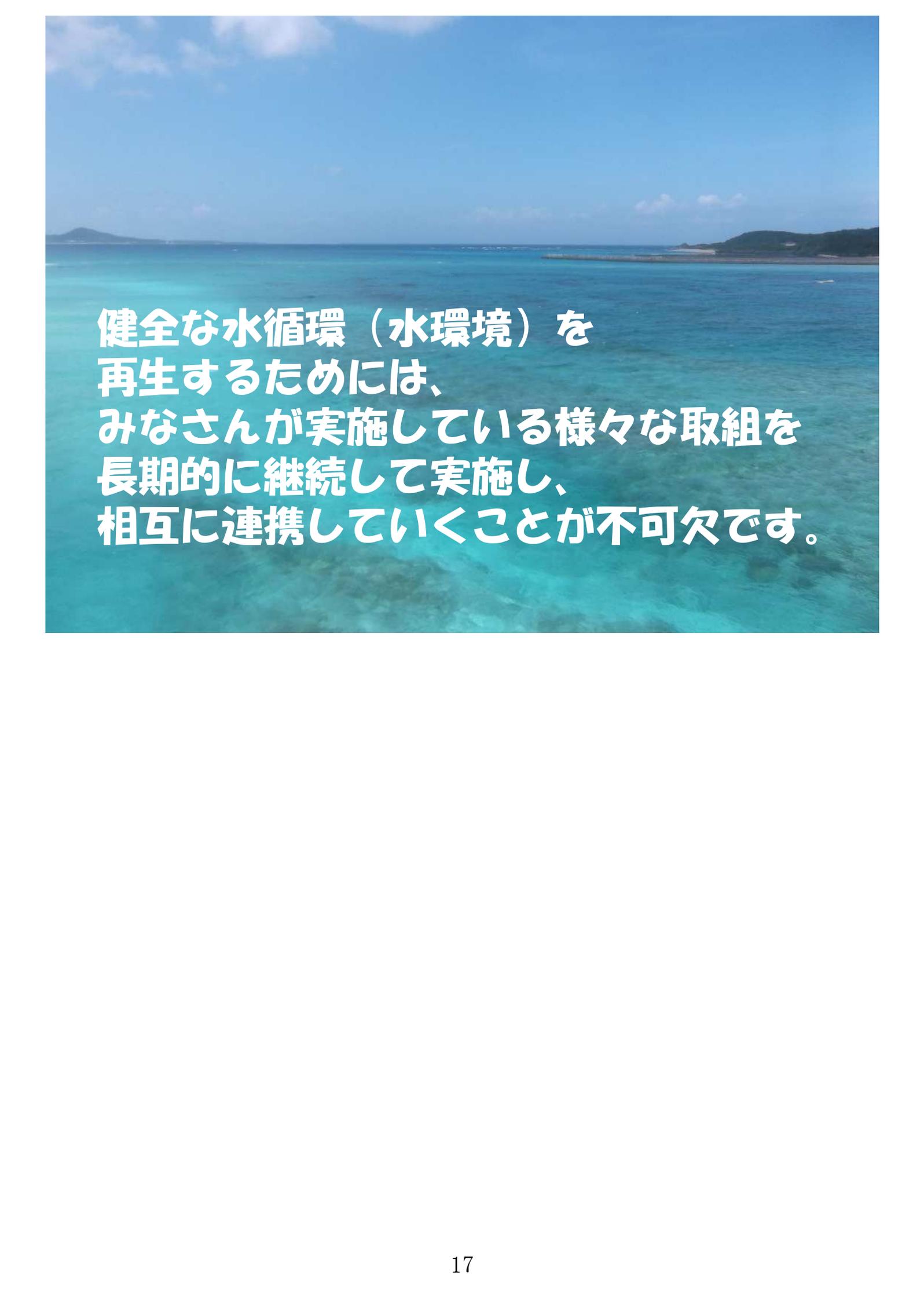


透視度の測定



採取した水生生物





**健全な水循環（水環境）を
再生するためには、
みなさんが実施している様々な取組を
長期的に継続して実施し、
相互に連携していくことが不可欠です。**